

川崎市も災害に備え、小中学校体育館にLPガス仕様のGHP設置を」と要望。市立小学校22校の全体育館にLPガス仕様のGHPを設置した東京・府中市の例やGHPとEHP空調熱源比較なども提示した。

いばらきLPガス保安センター総会 増子理事長ら再選、調査拒否率3%以内目標

(協組)いばらきLPガス保安センターは6月24日、水戸市の茨城県開発公社で「第41回通常総会」を书面審議で開き、増子孝之理事長、飯田正博、赤岩賢二の両副理事長、清水弘道専務理事らの役員を再選した。

重点事業はLPガスの「災害防止」と「普及促進」などを通し、「地域社会の福祉増進」や「組合員の事業発展」に寄与することを基本に、職員研修の徹底、消費設備調査の拒否率3%以内(前年度4.9%)などを目指す。保安業務は点検調査3万4,358件を実施。内訳は個別・集合設備が3万3,286件、大型設備1,072件。他、周知業務3万4,358件、CO調査業務252件を計画する。予算は1億2,744万円。

新型コロナウイルスの感染拡大防止から、保安点検・調査業務を一時休業していた。3月末現在の組合員数は236者。

千葉県協青年委、新しい生活様式学ぶ 島崎講師「商機・勝機・笑喜の時」



島崎講師

(株)千葉県LPガス協会青年委員会は7月29日、千葉市の千葉県ガス石油会館でZOOMを活用した「2020年度 第一回勉強会」を開いた。高見陽二委員長ら21人が出席した。

島崎浩志講師(株)シーエスクリエイティブ社長)が「新しい生活様式に対応した販促手法について」講演。DMチラシ作成やオンラインを活用した販売方法などを提示し、消費者との関係強化を提案した。ネットショッピングの開設、ホームページからの誘導、対象の抽出方法なども示し

た。島崎講師は「お客様は皆さんの連絡を待っている。固定客を持つ強みを最大限に活かす機会が到来している」などと述べ、対面機会を創造しコロナ危機を「商機」「勝機」「笑喜」に変えることが大事と結んだ。

勉強会は青年委員会の今年度コンセプト『地域に愛される総合エネルギー企業を目指して』の一環。テレワークやオンライン会議など新しい生活様式が普及し、多様化する社会が到来しつつあるため、ガス外収益への取組みや支持者拡大を念頭に入れた。

★新潟県協、移転 (株)新潟県LPガス協会は事務所を移転し、3日から業務を開始した。電話、FAXは変更無し。

【移転先】〒951-8131 新潟市中央区白山浦1-636-30 新潟県中小企業会館3F

「WEBガスショップ」制作・販売 CSクリエイティブ「消費者との関係強化に活用」

コロナ時代の提案営業が問われている中、千葉市の(株)シーエスクリエイティブは、リンナイ(株)のガス機器に特化した「WEBガスショップ(簡易ネットショップ)」を制作。販売業界に「対面機会の創造と消費者との関係強化に活用を」と提案している。基本運営費は3ヵ月3万5,000円(税抜)。

簡単にガス機器のネットショップを開設するプラットフォーム。デザインは4パターンから選択でき、コーポレートカラーに合わせることが可能。

島崎浩志社長は「DMやチラシ、検針伝票を利用してショップに誘導することも費用対効果を向上させる。カスタマイズも可能」と話した。DMは1通から作成し、送料も郵便局との特別契約により1通69円(通常84円)で済む。

同社は2005年7月の設立。主な事業は、販売促進・業務運用・システム企画など。(株)千葉県LPガス協会会員のネット活用を支援するなど、協会オブザーバーの1社として業界を支えている。全国規模で取引先も多い。